

シンポジウム 基調講演 議事概要

基調講演 京都の都市戦略・交通戦略とLRT

- ・京都の都市戦略・交通戦略の目標としては、①環境負荷の少ないまち②ひとにやさしい・美しいまち③歩いて楽しい・自転車で動けるまち④都市空間の節約ができるまち⑤人の交通権が確保されたまち⑥中心市街地が魅力のある都市の6つがあげられ、その目標を達成するためには、自動車依存都市から公共交通機関依存都市への方向転換が必要である。
- ・自動車と公共交通の適切な役割分担を行うためには、人々が車から公共交通へ転換する条件を整え、公共交通機関の整備と自動車の抑制対策に合意が得られ、公共交通機関の整備財源が確保できなければならない。
- ・ヨーロッパでは、多くの都市でトラムが導入されている。その理由は、自動車主体のまちづくりを行った結果、大気汚染や交通渋滞、中心市街地の衰退を招いたことから、それらを反省し、車の通行と駐車管理・削減や公共交通と自転車の優先、公共空間の創設、美化・歩行者に優しいまちづくりを進めたためである。トラムを成功させるためには、交通政策と同時に都市計画・都市政策を行うとともに、まちづくりのプロセスの中にトラムを加えること、絶対に成功させるという強い意志を持ったリーダーの存在、広報者の育成、事前協議とそれを受けた計画見直しが必要である。
- ・以上のことから、都市戦略・交通戦略の考え方として、京都づくりのプロセスの中にLRTとパッケージ政策を同時に位置づけることが重要である。